

平成 26 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社トラスト・テック  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 小川毅彦  
 (コード:2154 東証第一部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 鈴木憲一  
 電話番号 03-5777-7727

第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正  
 並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 8 月 9 日に公表いたしました平成 26 年 6 月期第 2 四半期（平成 25 年 7 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じました。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 8 月 9 日に公表いたしました平成 26 年 6 月期（平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

さらに、本日開催の取締役会において、平成 25 年 12 月 31 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）の決定及び平成 25 年 8 月 23 日に公表いたしました期末配当予想の修正を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異及び修正について

(1) 平成 26 年 6 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想数値との差異（平成 25 年 7 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）  
 (単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 予 想 ( A )	8,127	404	415	251	26 円 38 銭
今 回 実 績 ( B )	8,420	624	643	386	40 円 66 銭
差 異 額 ( B - A )	293	220	228	135	—
差 異 率 ( % )	3.6	54.5	54.9	53.8	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 6 月期第 2 四半期)	7,472	313	357	209	※21 円 98 銭

※ 当社は平成 25 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき普通株式 100 株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 平成26年6月期通期連結業績予想の修正 (平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	17,500	1,040	1,050	630	66円20銭
今回修正(B)	17,800	1,280	1,300	780	81円97銭
増減額(B-A)	300	240	250	150	—
増減率(%)	1.7	23.1	23.8	23.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年6月期)	14,915	718	804	460	※48円39銭

※ 当社は平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

## (3) 差異及び修正の理由

## ①第2四半期連結累計期間

技術者派遣・請負・委託事業は、特に自動車や自動車部品などの輸送用機器が引き続き好調であったことや、半導体装置関連企業からの人材需要の回復があったこと。また、製造請負・受託・派遣事業は、輸送用機器業界に加え、住宅関連企業との継続した取引と新規案件の獲得により、両主力事業の社員数と売上高は増加いたしました。

利益は、売上高の伸長に伴い売上総利益が増加したことに加え、顧客企業との条件交渉による成果や、製造請負・受託・派遣事業で請負の業務量増加により利益率が向上し、営業利益、経常利益及び当期純利益は、上表の通り当初予想を上回る結果となりました。

## ②通期

通期の見通しにつきましては、引き続き人材需要の高い輸送用機器関連に加え、半導体装置関連や電子部品などの分野における引き合いが増加していることから、技術者派遣・請負・委託事業と製造請負・受託・派遣事業の両主力事業とも、売上高の伸長が継続するものと予想され、当初予想を上回ると見込んでおります。

利益については、採用活動を更に強化するため積極的に求人費を投下し人材需要に応じてまいります。これによる販売管理費の増加は売上高の伸長で吸収されるため、営業利益率は当初予想(5.9%)よりも向上すると見込んでおります(今回修正予想7.2%)。

これにより営業利益、経常利益及び当期純利益につきましても上表の通り当初予想をそれぞれ上回る見込みです。

2. 剰余金の配当（中間配当）と期末配当予想について

(1) 剰余金の配当（中間配当）の決定の内容

	決定事項	直近の配当予想 (平成25年8月23日公表)	(ご参考) 前期実績 (平成25年6月期)
基準日	平成25年12月31日	同左	—
1株当たり配当金	20円00銭 (普通配当 10円00銭) (記念配当 10円00銭)	同左	—
配当金の総額	190,319千円	—	—
効力発生日	平成26年3月4日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

※ 中間配当の実施は今期（平成26年6月期）からとなりますので、前期実績はございません。

(2) 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成25年8月23日)	20円00銭 (普通配当 10円00銭) (記念配当 10円00銭)	20円00銭 (普通配当 20円00銭) (記念配当 — )	40円00銭 (普通配当 30円00銭) (記念配当 10円00銭)
今回修正予想	—	30円00銭 (普通配当 20円00銭) (記念配当 10円00銭)	50円00銭 (普通配当 30円00銭) (記念配当 20円00銭)
当期実績	20円00銭 (普通配当 10円00銭) (記念配当 10円00銭)	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年6月期)	—	※3,000円00銭	※3,000円00銭

※ 平成25年7月1日付で株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、株式分割前の1株当たり配当金を記載しております。

(3) 修正の理由

当社は、安定配当を重視しつつ業績に連動した配当を行うことを利益還元の基本方針としております。

前述の業績動向を踏まえ、東京証券取引所市場第一部への指定変更に対する感謝の意味を込めまして、期末配当に含めて記念配当を実施することといたしました。

これにより1株当たりの期末配当金は、当初予想の普通配当20円00銭に記念配当10円00銭を加え30円00銭となります。

業績予想等について

本資料に記載されている業績予想等に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以上